

科目名	韓国語2			ナンバリング	FLP641	授業形態	演習
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1単位
代表教員	金世煥	担当教員					

授業の概要	本講義では、韓国語(ハングル)の発音変化の仕組みを理解し、正しく書けるための韓国語の基礎を学ぶことを目標とする。実践的に活用できる基本文型や基礎語彙を身につけ運用できるように学習していくことで、書ける韓国語を目指して進めていくことにする。						
到達目標	1.韓国語の発音変化の仕組みを理解する。 2.基本文型や基礎語彙を身につけ、基本的な韓国語を書くことができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	毎週に学んだ韓国語を復習し、確実に身に付けるようにする。韓国語関連CDを聞いて予習しておくことを勧める。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①韓国語の名詞、動詞、形容詞、助詞などを区別し発音することができる。 ②韓国語の平叙文、疑問文、否定形、過去形、現在形、未来形、尊敬形などが読み書きできる。 ③韓国語の文章を理解し、日常生活でよく使われている韓国語を話すことができる。	①韓国語の名詞、動詞、形容詞、助詞などが正確に読み書きできる。 ②韓国語の平叙文、疑問文、否定形、過去形、現在形、未来形、尊敬形などが正確に読み書きできる。 ③韓国語の文章を理解し、日常生活でよく使われている韓国語を状況別に分けて正確に読み書きできる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○			○		30%
授業態度・授業への参加			○	○			20%
自己紹介プレゼンテーション	○	○			○		50%

課題、評価のフィードバック	講義の後半に、講義内容に関する振り返りを行う。最終回に韓国語で自己紹介プレゼンテーションを行い、評価する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	授業の目的や到達目標、授業内容について解説する。	
	第2回	子音や母音、そしてパッチムの復習	子音や母音、そしてパッチムについて復習する。	
	第3回	日常生活で使える代表的な名詞	日常生活で使える代表的な名詞について解説する。	
	第4回	日常生活で使える代表的な動詞	日常生活で使える代表的な動詞について解説する。	
	第5回	日常生活で使える代表的な助詞	日常生活で使える代表的な助詞について解説する。	
	第6回	日常生活で使える代表的な形容詞	日常生活で使える代表的な形容詞について解説する。	
	第7回	日常生活で使える代表的な平叙文	日常生活で使える代表的な平叙文について解説する。	
	第8回	日常生活で使える代表的な疑問文	日常生活で使える代表的な疑問文について解説する。	
	第9回	日常生活で使える代表的な否定文	日常生活で使える代表的な否定文について解説する。	
	第10回	日常生活で使える代表的な過去形と現在形	日常生活で使える代表的な過去形と現在形について解説する。	
	第11回	日常生活で使える代表的な未来形	日常生活で使える代表的な未来形について解説する。	
	第12回	日常生活で使える代表的な尊敬形	日常生活で使える代表的な尊敬形について解説する。	
	第13回	韓国語で自己紹介文の作成	韓国語での自己紹介文の作成を行う。	
	第14回	韓国語で自己紹介文の修正と補完	韓国語での自己紹介文の修正と補完を行う。	
	第15回	自己紹介プレゼンテーションと評価	韓国語で自己紹介のプレゼンテーションを行い、評価する。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方	参加型授業を目標に、講義中に質疑応答をしながら進めていく。			
授業外学習の指示	講義の内容を復習する。不明な点がある場合は教員に質問すること。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	教科書は使用しない。随時、資料を配付する。
参考書	特になし
参考URLなど	特になし
その他	「韓国語1」と「韓国の社会と文化」を履修することが望ましい。

ルーブリック

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		例：模範的、レベル3	例：標準、合格、レベル2	例：要改善、不合格、レベル1
1	授業態度	遅刻、退席はなく、居眠りや私語をしていない。積極的に発言や質問をしている。	遅刻、退席はほとんどなく、居眠りや私語はほとんど見られない。発言や質問はそれほど多くない。	遅刻、退席、居眠りや私語が多い。
2	プレゼンテーション	聴き手を意識した話し方や、アイコンタクトの取り方に工夫が見られる。内容の整理がされており、根拠のある主張ができています。	話し方や、アイコンタクトの取り方を意識している。内容は伝わるが、主張にやや論理性が不足している。	発表ができない。またはずっと原稿を見ているなど、聴き手を意識した話し方になっておらず、話の内容が伝わらない。
3	レポートの作成	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的が明示されており、主張を裏付ける論拠が整理されている。	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的の明示はされているが、やや曖昧である。	提出がない、もしくは課題の条件（字数、テーマ、体裁など）を満たしていない。
4				
5				
6				
7				